



## ごあいさつ

### ■□代表理事・会長 安藤 覚□■

#### “新型コロナウイルス感染症の影響の中で”

2020年は「東京オリンピック」が華々しく開催され、世界中から一流アスリートや観光客が日本に集まり、スポーツも経済も大いに

活況を呈するはずでありました。ところが、新型コロナウイルス感染症の発生により、東京オリンピックは順延され、世界中から集まるはずであった観光客は入国制限となり、国外・国内を問わず人々の交流は大きく制約されることとなりました。約100年ぶりとなる「世界大恐慌」の可能性すら噂される状況であります。

この新型コロナウイルス感染症の影響で日本経済全体だけでなく岡山県の地域経済も大きく落ち込んでいます。飲食・宿泊・観光業だけでなく、運送・建設・製造業に至るまで幅広い業種で売上高が急速に減少し、業績が悪化してきています。また、我々岡山県中小企業診断士会としての活動も大きく制約を受けており、「診断士会フォーラム」が延期になり、「懇親会」が中止となりました。近年盛り上がってきていた診断士会の諸活動が通常実施できなくなり、会員交流の場が縮小してきている現状はとても残念でなりません。この先、第2

波、第3波の感染拡大を含め、どこまで感染の影響が広まるのかわかりませんが、地域経済・地域社会の崩壊は何としても食い止めなくてはなりません。

後世の歴史家から2020年はどのように記録されるのでしょうか。悪夢のような一年として記録されるのか、世の中が大きく変化したきっかけとなった年として記録されるのかは、これからの私達の行動にかかっていると思います。中小企業診断士は固定化された社会ではなく、変化に満ちた社会でこそ活躍が期待されます。世の中の変化を読み、生き残るためや、さらに成長するための経営戦略・戦術を考えるのが我々の役割です。その意味で2020年はまさに中小企業診断士が出番の年となるでしょう。変化が激しく先が見通せず、社会が不安定な時こそ我々の専門性を発揮し、地域経済を守り発展させていかななくてはなりません。

正しい答えは事前に用意されていません。情報収集し、手探りしながら、考えながら、確実に前進していく方策を考えて実行していきましょう。困ったときに頼りになる専門家としての地位を我々自身の手で築いてまいりましょう。



## 令和 2 年度事業

### 定時総会および表彰式

令和元年 6 月 20 日（土） 15 時～17 時  
場所 ピュアリティまきび  
（岡山市北区下石井 2-6-41）  
出席者数 会員総数 142 名  
出席会員数 92 名（うち委任状 63 名）  
会員総数の 3 分の 1 以上の会員出席で総会は成立し、議案に関し審議の結果、全員の拍手を以って承認されました。



### 表彰式

令和元年度 一般社団法人中小企業診断協会 会長  
表彰者  
永年会員（20 年以上本会の会員）3 名の方。  
生田 隆司(写真上)、宮前 善充(写真下)、  
小野 毅（敬称略）



## 診断士フォーラム

### ◆7 月フォーラム◆

令和元年 7 月 12 日（日） 10 時～12 時  
ゆうあいセンターにて

#### 【講師】

循環ビジネス研究会メンバー

#### 【テーマ】調査研究事業 発表会

プラスチックごみ処理とプラスチック産業の方向性

#### 【内容】

「循環ビジネス研究会」のメンバー 6 名による調査研究事業の成果発表です。

自然界の中で半永久的に分解されず重大な環境問題を引き起こしているプラスチックごみについてその処理の現状・課題を分析し、今後のプラスチック産業及び企業経営の方向性について考察・提言した内容でした。

なお今回のフォーラムは初めて会場と Zoom オンラインとの併設で開講しました。

参加者 21 名（会場 16 名、Zoom 5 名）



次回は令和 3 年 1 月に新春フォーラムを開催予定。

☆今後のフォーラム予定

R3/3 月 14 日、5 月 9 日

フォーラムで発表等、ご希望の方は、事務局までご相談ください。

## 診断士の日【60 周年記念式典】

診断士の日 60 周年記念式典は 2020 年 11 月 10 日（火）に実施を予定しています。

例年の診断士の日は広く参加を募っていますが、今回は記念式典となるため全員招待客となります。コロナの影響でキャパに限りがあるため、診断士

の参加も役員中心になることをご承知おき願います。

内容は大紀産業株式会社の安原宗一郎社長より診断士との関わり含めて基調講演をいただきます。米田全国会長にもご来岡いただいて講演いただきます。

また過去から現在そして未来に繋げるため、黎明期の診断士会から現在までの振り返りと未来へのご提言を元会長の額田信一さんと加藤珪一さんの対談をVTRで上映します。

コロナの影響で実施が不透明ですが、実施を前提に準備を進めていきます。

## 第 39 回親睦ゴルフ大会

岡山県自由業団体連絡協議会の親睦ゴルフ大会は新型コロナウイルスの影響により中止になりました。

## しんきん合同ビジネス交流会

### ◆◆無料経営相談会開催予定◆◆

今年度 9 月開催は中止となりました。令和 3 年 1 月に予定していますが決定ではありません。

## 士業連携フォーラム

### ◆◆第 9 回士業連携フォーラム◆◆

(主催：岡山自由業団体連絡協議会)

今年度は新型コロナウイルスの影響により開催中止となりました。

## 10 士業合同無料相談会

令和 2 年度 10 士業合同無料相談会開催予定

【日 時】

令和 3 年 1 月 18 日 (火)

9 : 30 ~ 16 : 00 (受付 15 : 30 まで)

【会 場】

岡山会場…岡山市勤労者福祉センター5階  
体育集会室(予定)

倉敷会場…倉敷市役所 10 階大会議室

津山会場…津山市役所 2 階大会議室



# 研究会活動事業

## 循環ビジネス研究会

本会は本年度中小企業診断協会(本部)の調査研究事業に応募する予定で準備しています。

内容は昨年度に引き続きプラスチックごみの処理について個別企業に訪問して診断マニュアルの作成を目指します。

診断士会の活動としては、産業廃棄物診断の知識補充の視察を計画しています。

## AI研究会

本会では、月 1 回研究会を開催して、AI や IT についての情報交換を行っています。4 月以降は、SKYPE や ZOOM を活用しています。

コロナ禍において、人と人との交流が途切れがちになりそうですが、当会ではその状況を逆手にとり、岡山以外の県協会で活動している AI 研究会との交流を求めて、積極的に声掛けをしています。

6 月には、石川県中小企業診断士会の AI 研究会である KAIs (ケーエーアイズ) の皆様と、ZOOM での交流会を行いました。KAIs の研究成果を伺い、たいへん勉強になりました。

これからも、県域を超えた交流を積極的に行い、我々の研究にも役立てていく予定です。



## ものづくり企業研究会

本研究会は、第2次産業の業界動向・技術・ノウハウ・管理システム等の調査研究を行うのみではなく、「ものづくり企業」が多く抱える経営課題を個々に明確にし、課題解決に向けて販売・組織・財務・製造・労務などの側面から多角的に対応するノウハウを研究・蓄積することを目的に活動を続けている研究会です。

昨年度は、月1回の定期的会合に加えて、生産性向上を主テーマとした工場診断(株式会社N様)や厚生労働省のHACCP施行・実施(2020年6月実施開始)を踏まえての、食品製造業者(株式会社K様・有限会社M様)の経営診断・HACCP対応状況診断も実施しました。



(有限会社M様訪問時の記念写真)

本年度は、今まで蓄積したノウハウ等を体系化し、且つ、ターゲットを定めた調査研究テーマと関連機関を巻き込んでの実施スケジュールを定めることとし、来年度の調査研究事業実施に向けた、整備・準備を進める予定です。

## 地域活性化研究会

当会の今年度の活動テーマは「自治体における観光振興」です。今年2月に岡山県をはじめ県下全市町村に対し、観光振興に関するアンケートを実施しました。その結果、多くの自治体で「魅力ある観光資源を持ちながらも、専門人材や必要資金が不足している」との課題が浮き彫りになりました。

コロナ禍により、しばらく活動を中断しておりましたが今後はアンケートの内容から数カ所の自治体を選んで、ヒアリングに出向く予定としています。



(7月6日に開催した居酒屋ミーティング)

## 新会員紹介

■口上吉 隆一 (うえよし りゅういち)■口

会計事務所に15年(うち税理士として5年)勤務し、会計・税務の業務を通じて中小企業の支援を行ってきました。その経験から、在庫削減や資金調達といった資金繰り改善、設備計画の策定、利益計画の立案を得意としています。

このほか、得意先を分析して効率的な営業活動の助言や、十分に活用できていないITツールを有効活用する支援も行ってきました。

今後は経営者に対するアドバイスに力を入れ、中小企業の持続的な成長・発展を支援いたします。



### ■□丹下 芳昭（たんげ よしあき）■□

岡山大安寺高等学校、法政大学を卒業後、1994年におかやま信用金庫（当時は岡山相互信用金庫）に入庫しました。2019年9月に中小企業大学校の養成課程を卒業し、11月に登録となりました。



現在は価値創造部に所属し、営業店と協働しながら、中小事業者の事業価値向上を図るための業務をおこなっています。

これまでの経験と診断士会の方々との連携によって、中小事業者に最適なソリューションが提供できる中小企業診断士になりたいと思います。

### ■□松本 旭（まつもと あきら）■□

この春、単身赴任が明けて、久しぶりに故郷の岡山に帰ってきました。コロナ禍の中で、知った顔がたくさんいる岡山はいいなあと感じています。

5月に中小企業診断士の登録を済ませたばかりですが、診断士の先輩方と情報を交換していきたいと思い、診断士会の門を叩きました。食に関する分野の経験が長く、食べることも大好きです。体重は分岐点を大幅に超えておりダイエット中ですが、会の集まりがあれば積極的に参加していきたいです。

### ■□徳山 豪志（とくやま たけし）■□

水島信用金庫審査管理部経営支援室に所属しています。

地域の中小企業経営者の方々に、単純に経営に関する知識や施策などの情報を提供するだけでなく、対話の中から現状をしっかりと把握した上で、経営者に寄り添った支援を行うことを最も重視して日々の経



営支援活動を行っています。

信用金庫に所属する企業内診断士だからこそ出来ることを常に意識して、診断士会のネットワークを活用させていただきながら地域の中小企業のために尽力いたします。

### ■□平田 聡（ひらた さとし）■□

組織コンサルティング及びコンサルティングの内容に合致する一貫した従業員研修に自信があります。経営者層、管理者層、監督者層、中堅層、入社数年目の従業員から新採用の従業員



に対して、組織力を発揮するための役割認識からスキルの習得まで、幅広くかつ一貫したコンサルティングを実施できます。また、監査法人勤務の経験を活かした会計や内部統制対応への相談についても対応できます。

### ■□山成 洋輝（やまなり ひろき）■□

私は普段は金融機関にて勤務しており、地域の方々の課題解決等に向け、様々な方向性での支援に尽力しています。



将来の目標に向け日々努力を重ねているところであり、自分にしかできないこと、自分だからできることを少しでも多く見つけていけたらと考えています。

人見知りの面がございりますが、話好きであり、話力については自信をもっております。自分の強みを武器として、多くの方々に役立つ存在として広く貢献していけたらと思います。

■□**柚木 佑佳 (ゆのき ゆか)**■□

岡山市出身です。2017年に診断士試験に合格しました。その後、実務補習や第一子出産を経て、2019年12月に入会しました。



製造業の人事を担当して13年目になります。

これまで従事した業務は、採用・福利厚生・人事評価・人材育成・労政など多岐に渡ります。

また、最近ではBCPや広報業務にも従事しています。組織の一員として、またマネジメントを担う立場として、チームの成果を最大限に発揮するために必要なことは何か日々模索しています。

■□**尾崎 順子 (おさき じゅんこ)**■□  
(準会員)

令和元年度に中小企業診断士試験に合格し、現在は登録に向け実務補習受講中です。自分自身の学びの機会を増やし成長に繋がりたいと考え、この度準会員として入会しました。



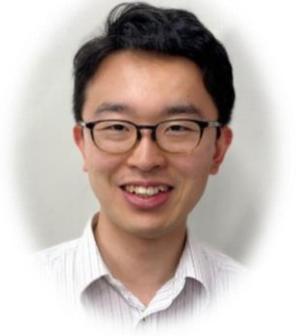
出身は岡山県です。大学卒業後、県外で就職し仕事をしていましたが岡山に戻り中小企業で経理事務をしています。

大学卒業後、十数年小売業界にて店舗での接客・販売や本部でのバイヤー業務に携わってきましたので、売上・利益拡大に向けた販売管理や接客・売場マネジメントを中心としたコミュニケーションを得意としています。

今後は女性ならではの視点や発想を活かし、話しやすい雰囲気づくりを心掛けて活動をしていくと共に、興味のある事には積極的にチャレンジしてたくさんの事を吸収し学びたいと思います。

■□**吉延 諒一郎 (よしのぶ りょういちろう)**■□  
(プラザ会員)

岡山商工会議所の金融支援課で融資の斡旋や補助金申請サポートを行っています。興味のある分野は商圏分析で、商圏分析レポートを基に、商圏内需要や商圏強度を導き出してお客様に提供できるよう勉強中です。



現在、様々なコロナ関連制度が発表される中、厳しい環境に置かれる事業者の一人でも多くに、その周知・活用を促すことが重要だと考えています。そのために支援機関職員として診断士会の皆様と連携し、岡山経済再興の一助となるよう努めます。

■□**若林 貴史 (わかばやし たかふみ)**■□  
(プラザ会員)

所属は(公財)岡山県産業振興財団です。所属先の支えもあり、幸いにも令和元年11月に中小企業診断士に登録となりました。



生まれも育ちも岡山の地元大好き人間で、学生時代から地域を支える仕事がしたいと考えていました。当時、“地域を支えているものは何か？”と黙々と考えた結果、その一つが地域の企業であるに至りました。

これから、地域を支える企業の方々に光が当たるよう陰ながら支援を行いたいと思います。



## 会員投稿

### 循環ビジネス研究会の調査研究 事業について

藤原 敬明

昨年度、循環ビジネス研究会は当会の調査研究事業として「プラスチックごみの処理問題と今後の方向性に関する調査研究」を実施しました。

日本でプラスチックごみ問題に注目が集まった契機は 2017 年末に中国によるプラスチックごみの輸入禁止です。当初は香港経由で輸出可能と考えた業者もあり、中国が輸入禁止した量を東南アジアに振り替えましたが、すぐに東南アジアでも輸入を拒否されました。

その後、海亀の鼻にストローが刺さった映像が話題になり、ストロー廃止に関心が集まりました。この時、森林保護を名目に行われたマイ箸運動が思い浮かびました。マイ箸を持ち歩くことで割り箸の使用を減らし、森林を保護しようとしたのです。しかし、森林保護には間伐が必要であり、間伐材の数少ない用途のひとつが割り箸生産でした。結果としてマイ箸運動は真逆なことを行っていたのです。

プラスチック製ストローにおいてもマイ箸運動のように政治的に利用されることを懸念しました。当研究会では以前からプラスチックごみのリサイクル業者の視察を行ってきました。その経験から日本のプラスチックごみのリサイクル・処理システムは国際水準以上に進んでいると確信しています。欧米に追随するのではなく、日本の強みを活かした方法があると考えました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、飲食店のデリバリーやテイクアウトが増加し、プラスチック容器が増加しました。一部では 2 割とか 17%ごみが増えたとの報道があり、これにより「プラスチックごみのリサイクル・処理システムは破たんした」と主張する人もいます。しかし、プラスチック容器の処理は、容器包装リサイクルの枠内にあり、使用量が増えていても処理の枠組みは機能しています。しかし、そうは言っても、ごみが 2 割

も増えると現場でゴミを収集する人は大変でしょうが。

なお、上記の海亀の動画は、中国がプラスチックごみの輸入禁止を実施する前に撮影されたもので、切羽詰まらなるとなかなか動かない日本の現状が見えてきます。海洋プラスチック問題やハシボソミズナギドリ等のマイクロプラスチックの誤食問題も同様です。

マイ箸運動はドイツで創設された F S C（森林管理協議会）の制度の普及によっていつの間にか消えました。日本はオイルショックによって資源の無駄を省くことに注力し、1980 年代に製造業が世界を席卷しました。自動車の例では燃費の良い小型車を開発し、現在の成功に繋がったのです。ただ、その後の日本は過去の成功体験にこだわり、バブル崩壊後の失われた 10 年とか 20 年という時代を過ごしています。

一方、欧州ではプラスチックを中心としたサーキュラーエコノミー（循環経済）を中核に置いた経済の活性化を狙っています。自ら高い目標を設定し、可憐に挑戦することで、経済成長を図っているのです。それは見方を変えればサステナビリティを実現する方法でもあります。もちろん、多くの産業に適用できますが、プラスチック産業に大きな影響を持っています。

プラスチックの問題は有限な石油資源を使うこと、焼却処分すれば CO2 の排出が増え、地球温暖化の原因になること、海に流れ込み海洋プラスチックとなり細かく砕けてマイクロプラスチックとなり野生動物のみならず人の健康問題になることです。

バイオマスプラスチックや生分解プラスチックが、プラスチック全ての問題を解決するわけではありませんが、この調査研究を通じて、マイクロプラスチックの問題の底深さが垣間見えてきました。新型コロナウイルス感染症もプラスチック問題も共に生活様式やライフスタイルの変容が求められます。報告書にはペットボトルの再生等を書きましたが、主役は大企業中心です。今年は中小企業にも適用できる内容を考えています。

## 書籍のご紹介

### 『世界標準の経営理論』 入山章栄 著

世界の経営学の叢智は、この1冊で完璧に得られる。いまこそビジネスパーソンに求められる「思考の軸」を手に入れよ！史上初！世界の主要経営理論 30 を完全網羅した解説書、圧倒的なわかりやすさと面白さで、驚くほど一気に読める！

ダイヤモンド社ホームページより



### 『CSV 経営戦略』 名和高司 著

「CSV (共通価値の創造) とは、戦略論の泰斗マイケル・ポーター (ハーバード大学教授) が、2011 年に提唱した新しい経営モデル。企業は、抜本的な社会課題を解決することで、経済価値を同時に増大できる。これは慈善や非営利の事業ではなく、本業としての経営戦略に組み込むことで初めて実現できる。CSV は、従来の戦略論を根本から見直す試みであり、世界的にも大きな影響を与え始めている。本書では、日本企業が CSV をいかに自社の経営戦略に取り込み、飛躍を遂げていくべきか。ポーター教授の下で学び、現在ビジネススクールで教鞭をとりながら、ファイトリテイリング、BCG をはじめとする企業のアドバイザーを務める著者が、ポーター教授の理論や CSR との違い、豊富な内外の企業事例、そして、実践に至るまでを具体的に提案するものである。著者とポーター教授、グラミングループ総裁のムハマド・ユヌス博士との各対談も収録。

東洋経済新報社ホームページより



## 事務局だより

### ◆理論政策更新研修◆

理論政策更新研修 (4 時間の研修) は、更新要件のひとつである「新しい知識の補充に関する要件」として実施する研修です。本研修は、登録有効期間 5 年間で 5 回修了することが必要です。下記の通り実施いたします。

日程：令和 2 年 9 月 12 日 (土)

12 時 50 分～17 時 00 分

場所：岡山コンベンション コンベンションホール

申込期間：令和 2 年 7 月 30 日～8 月 25 日

研修受講料：6,300 円

### ◆令和 2 年 下半期スケジュール◆

#### ・理論政策更新研修

日時：令和 2 年 9 月 12 日 (土)

12 時 50 分～17 時 00 分

場所：岡山コンベンションホール

#### ・診断士の日【60 周年記念式典】

日時：令和 2 年 11 月 10 日 (火)

式典：15:00-17:30

懇親会：17:30-19:00

場所：ホテルグランヴィア岡山

#### ・新春フォーラム・新年会

日時：令和 3 年 1 月 10 日または 17 日(日)

15 時～19 時

場所：ピュアリティまきび (予定)

#### ・診断士フォーラム

日時：令和 3 年 3 月 14 日 (日)

10 時～12 時

場所：ゆうあいセンター (予定)

岡山県診断士会会報 第 17 号  
令和 2 年 7 月 15 日 発行  
一般社団法人岡山県中小企業診断士会  
〒700-0907 岡山北区厚生町 3-1-15  
岡山商工会議所ビル 8F  
Tel 086-225-4552 Fax 086-225-4554

発行人 会長 安藤 覺  
編集人 専務理事 松本直也

